



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：GCCによるイランへの濃縮ウラン供給計画 (11月2日付現地各紙)

11月2日、訪英中のサウド外相の発言（概要）：

1. GCC 諸国は、濃縮ウランをイランに提供するための機構を立ち上げる計画を有している。我々の提案は、コンソーシアムを通じた包括的な方法で、中東地域の国々に対して、各国の必要及び各プランが必要とする分量に応じて濃縮ウランを提供すると共に、核兵器への非転用を確実にするものである。
2. 同提案は、イランの核開発問題を巡るイランと西側諸国との緊張を緩和するものとなるであろう。イラン側は、同提案を検討したいとしており、検討結果を我々に知らせることになっている。
3. 同提案に米国は関与していないが、米国が本件に敵対的な態度を示すとは思わない。又、他のアラブ諸国についても同提案を拒否するとは思わない。実際のところ、他のアラブ諸国は同提案に参加する意思を既に表明している。
4. （GCC の核濃縮）プラントについては、例えば、スイスのような中立的立場の国に建設されるべきであると考えている。
5. 我々は、イランが同提案を受け入れることを望んでいる。我々は、イランに対して、本件をイランのエネルギー需要の観点からのみでなく、地域の安全保障の観点からも考慮するようにと引き続き伝えていくつもりである。